

開催のご挨拶

「岡山大学知恵の見本市2008」にご来場戴きましたことに心から感謝申し上げます。岡山大学及び「岡山大学知恵の見本市2008」について、簡単に紹介させて戴きます。国立大学法人岡山大学は、文系理系からなる11学部、7大学院研究科、1附置研究所（倉敷市）及び1全国共同利用施設（鳥取県三朝町）の組織構成で2,603人の教職員（内教員1304人）及び約14,000人の学部学生・院生を擁する大規模総合大学に位置付けられており、インターデシプリナリ（学際的）な総合大学院大学として、中国四国地域の中核大学（学都）を目指しております。

岡山大学は平成16年度の国立大学法人化を契機として、教育および研究活動と並んで教育研究成果を社会へ還元すべく社会連携活動に力を入れております。多くの教員により展開される教育研究活動は、文化・社会科学から自然科学、生命科学、医学と多岐に亘っており、数多くの学生を社会に輩出するとともに、科学研究費補助金による研究や政府系受託事業や民間企業との共同研究等の実施により、日々、地域のみならず我が国社会全体に貢献しております。

また、岡山大学は、“高度な知の創成と的確な知の継承”を理念とし、“人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築”を目的とするとともに、常に世界最高水準の研究成果を生み出すことをその主題とし、国際的に上位の研究機関となることを目指しております。

「知恵の見本市」は、岡山大学における研究成果を、皆様方に広くご紹介する場として、また、産学官連携の端緒の場として、2006年度から開催しております。

今年は、現在、地球上の大きな問題となっております環境・食料・エネルギー・医療をそのテーマとして選定し、これらに関連する研究成果をあつめました。

また、これらテーマ以外にも、一般・共通分野として、機械加工、化学分析、IT技術、企業法務、人材育成等に関する最新の研究成果や知財戦略、起業化支援、技術移転等についてご紹介いたします。

さらには、環境・医療に関する研究施設見学としてビオトープ（水循環施設）及び附属薬用植物園の見学コースを設定いたしました。

本日の「岡山大学知恵の見本市2008」が、皆様方と大学との新たな出会いの場となることを強く期待し、ご挨拶とさせていただきます。

平成20年11月7日

国立大学法人岡山大学 理事・副学長 曾良達生